

# 潮寿荘だより

ちようじぞう

平成28年1月15日発行  
発行：特別養護老人ホーム  
**潮 寿 荘**  
記事：1月担当潮寿荘職員  
編集：潮寿荘だより編集委員  
題字：大澤久美子(76歳)



12月20日、午後4時。今年も末日生徒イエスキリスト教会の皆さんによるキャロリングからクリスマス会がスタートしました。いつもは施設長サントがトナカイのソリにひかれて音楽とともに登場ですが、今回は松野主任と銃を持った斎藤介護士がトナカイをシカと見間違えて撃ちそうになる、という寸劇をしてからの登場になりました。その後はサントから入居者の皆さんにプレゼントを配り、教会の皆さんと簡単なゲームをして盛り上がりました。

今年は職員の出し物も二変。「クリスマス殺人事件」という劇と、ひげダンスをやりました。劇に出演する予定は無かった私ですが、当日になり北川相談員から「僕が倒れるから、その後鈴木さん来て、僕のほっぺた

を2回平手打ちしてくれ」と頼まりました。その前に斎藤さんにも頼んだみたいですが「僕は人は殴れませんが」と言われて断られたそうです。私もそうですが、そういう役なら仕方ないかと、渋々引き受けました。劇の内容は、山田名探偵(介護士)が殺人未遂事件を解決するというもので、北川相談員の事が好きすぎて吉田栄養士が事件を起こしてしまう話です。北川相談員脚本による笑いもある話だったので、マイクをあまり使わなかったせいか、声が聞こえづらく近くにいる方しか笑っていませんでした。ひげダンスは、おなじみの曲と手拍子で介護士4名とゲストの小川事務長の芸で大盛り上がりでした。



アトラクションの後は会食です。乾杯の音頭をとるのは先日入所されたばかりのヨシ卫さん。そして待ちに待った会食がスタート! やっぱり男性テーブルは食欲旺盛!! 入居者の中で一番若いTさんは、普段から沢山食べてくださいますが、この日は職員

12月8日〜12日まで、理学療法士の中村と介護士の斎藤、泉、そしておまけで自分の4名で東京へ研修に行ってきました。中村以外は都会を知らない田舎者。到着早々、東京の人混みに疲れ果て明日からどうなるのだろうと心配に。今回は珍道中エピソードを書きます。

初日は『ひのでホーム』さんへリフト導入やその他のいろいろ実習へ。

① ひのでホームさんへ向かう車中。印象的な人が隣に座り、我らの目的駅の(裏面へ)





# もちつき



大きな杵でハツエさん



小さな杵でさださん



大きい杵と小さい杵で

雪が積もり、ようやく冬らしくなってきた12月28日潮寿荘では餅つきを行いました。女性でもお餅がつけるよう、小さい杵も用意しており、男女代わる代わる杵を持ち、次々と餅をつきます。周りの人たちは、ついている人を応援、「ヨイショー!ヨイショー!」「頑張ってるよ」とみなさんの声援がホール内に響き渡ります。特に声援に力が入っていたのは猛さんとミセさん。終わる頃には声がかすれるほど一生懸命声援を送ってくれました。餅をつく方に「一言、意気込みを!」とマイクを向けると「頑張るぞお!!」とおっしゃる方が多い中、普段から可愛らしい声で和ませて下さる和子さんは「がんばるぞっ」と可愛く一言。その後、小さく小さく餅をついてくださいました。餅つき初参加の山田介護士は『合の手』にも初挑戦。餅に水を付けて、ひっくり返し、順調に上手く出来ていたはずが……。いつの間にか、杵から餅がびろーんと!「ありゃー?失敗失敗、結構難しいもんだなあ」と一人反省していました。

みんなでついた、できたての餅はすぐ昼食でばくり! あんこ、きなこ、ごま、みたらし。どれも美味しく、みなさん次々とお代わりされていました。このお餅お正月には「お雑煮」としてたくさん召し上がっていました。餅つきで見せてくれた元気が今年もずっと続きますように。(声優大好き、ポケモンになりたかった介護士・宇美)

## 2月の予定

- 2月3日 節分 2:00~ 特別映像(ポ・ポ・コン)
- 2月8日 餅会食(ごご餅)
- 2月10日 誕生会
- 2月11日 建国記念(バレンタイン)
- 2月19日 入居者健康診断
- 2月22日 餅会食(茶味湯粉)
- 2月29日 世襲訓練



駅の2つ位前の駅で降りました。その後電車からその人が見え「あ、走ってる、走ってる」と言っていたのですが、到着し、ひのでホームのロッカールームに入ると、なんとその人が!びっくりしました。

毎日走って通勤しているそうです。

② 夜、ホテル(新宿)近くの居酒屋で実習反省会をした帰り道。外人が「マイフレンド」と言って肩を組んできました。「オーブラザー」と手を握ってくる人もいました。自分には外国人の友達や兄弟はいないのに、都会は不思議です。

③ 12日はリフトインストラクター研修の二日目。研修終了後には実技試験があります。一番手は自分、松野。2番手斉藤、泉、中村と一人ずつ別室で試験を受けます。自分が試験を終え「斉藤さんの番だよ、ガンバって行ってこい」斉藤「よっしゃ行ってくるぞお!」と勢いよく出て行って一分後「会場どこだ、迷子になった」と勢いよく戻ってきました。緊張して順番を待っている受験者全員大爆笑。斉藤さんのおかげでその後の受験者はリラックスして試験を受けられたと思います。

④ 試験を終え、帰りの車中。帰宅ラッシュに巻き込まれ、身も心もみくちや。渋谷を過ぎた辺りで、乗客が一斉に降りたので、残った乗客でイス取りゲーム状態になった。すると何処からか一人のコギヤルが、泉、斉藤の間をすーっと抜けてイスに座った。都会の人間は流石、と感心した瞬間、コギヤルが拳動不審な動きになり、逃げるように隣の車両に駆け込み、こちらの様子を伺っている。泉「斉藤さんを見て逃げたんだ」斉藤「ちがうべ」と二人は笑っていた。コギヤルは席を横取ってから、人相の悪い三人に取り囲まれている事に気づいて逃げたみたいだ。最初から横取りしなければいいのに。都会は不思議の宝庫だ。

ひのでホームでの実習は大変勉強になりました。今回の東京での体験を今後の仕事に役立てたいと思います。潮寿荘の原人、こと松野でした。(道具置き場に自分用の机や棚を作りの人員が増えた 事務所から出て行ってしまった庶務主任・松野)

※いつも暖かく私たちを受け入れてくださる『ひのでホーム』の皆様、心より感謝申し上げます。

